



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊原 英二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役現業支援本部長 (氏名) 姫尾 房寿 (TEL) (078) 967-4601
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	12,960	△2.7	△3	—	△0	—	△689	—
2024年3月期	13,313	△6.8	△46	—	0	△99.5	△15	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △693百万円 (—%) 2024年3月期 △0百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△141.72	—	△9.9	△0.0	△0.0
2024年3月期	△3.12	—	△0.2	0.0	△0.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	15,070	6,564	43.6	1,348.67
2024年3月期	16,263	7,355	45.2	1,511.12

(参考) 自己資本 2025年3月期 6,564百万円 2024年3月期 7,355百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	162	0	△342	2,680
2024年3月期	1,425	△890	△305	2,860

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	—	1.3
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	97	—	1.4
2026年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		97.3	

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,600	0.8	80	28.9	80	30.2	50	32.1	10.27
通 期	13,200	1.9	160	—	160	—	100	—	20.54

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2025年3月期	5,155,600株	2024年3月期	5,155,600株
2025年3月期	288,193株	2024年3月期	288,193株
2025年3月期	4,867,407株	2024年3月期	4,867,407株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	12,960	△2.7	△11	—	△6	—	△695	—
2024年3月期	13,313	△6.8	△7	—	7	△96.4	△8	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	△142.97	—
2024年3月期	△1.82	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	15,089	6,589	43.7	1,353.80
2024年3月期	16,271	7,383	45.4	1,516.90

(参考) 自己資本 2025年3月期 6,589百万円 2024年3月期 7,383百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調となりました。一方で、生活必需品やエネルギー価格の高騰、長引く円安により物価は上昇しており、消費者の生活防衛意識は一層高まっています。また、関税を巡る保護主義的な動きなど世界経済は不確実性が高まり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは当期の基本戦略を「オリジナル商品の価値向上」とし、開発体制を強化するとともに商品力の強化を通して価格以上の価値をお客様にお届けすべく、顧客満足度の高い商品提供を目指してまいりました。しかしながら、店舗販売事業の売上は堅調な一方で、通信販売事業の売上が計画を下回った結果、当連結会計年度における連結売上高は、129億60百万円（前期比2.7%減）となりました。利益面は、通信販売事業の利益が売上減少に伴い計画を下回った結果、営業損失は3百万円（前期は営業損失46百万円）、経常損失は0百万円（前期は経常利益0百万円）となりました。なお、保有する固定資産のうち、収益性の低下が見込まれる一部固定資産について、6億7百万円の特別損失（減損損失）を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は6億89百万円（前期は当期純損失15百万円）となりました。

当社グループの報告セグメントの連結会計年度における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では新規受注を喚起するため、靴・衣料・雑貨の各カテゴリーにおいて低価格帯の販売促進商品のほか、春夏・秋冬新品目を約1,000点投入いたしました。また、8月より付加価値を付けた当社オリジナル商品としては高価格帯となる『手を使わずに履ける靴「SP-ON（税込3,190円～）」』を逐次20デザイン投入し、幅広い顧客層の受注喚起に努めました。販売促進面では、インスタグラム、Xを活用したインフルエンサーによる商品PR、アプリを使用した参加型の靴祭り・スクール応援キャンペーン等を実施し、新規顧客の獲得・既存顧客の受注促進に努めました。その結果、「SP-ON」の受注累計は6万5千足に達し、新規顧客の獲得に相応の成果を得ることができました。しかしながら、仕入価格の上昇等による価格改定に見合った価値ある商品を十分に提供するに至らず、総受注件数は前期を下回りました。この結果、売上高は61億38百万円（前期比8.2%減）となりました。利益面は経費の削減に努めましたが、減収の影響によりセグメント利益は2億3百万円（前期比29.4%減）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、岩岡本店食品館リニューアルを機に来店客数は増加基調で推移し、食品部門のみならず他の部門にも好影響をもたらしました。また、靴部門の売上高は、「SP-ON」の販売が3万5千足を超えるなど、総合店・靴専門店ともに堅調な伸びを示し、前期を大きく上回りました。加えて、専門店を主にオリジナル商品の売上増加が売上総利益率のアップに寄与しました。この結果、売上高は66億30百万円（前期比3.3%増）となりました。利益面は、増収、売上総利益率のアップおよびチラシの効率配布等経費を削減した結果、セグメント利益は1億76百万円（前期比204.7%増）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、主力取引先に対してレインシューズ・カジュアルスニーカーを主に販売を伸ばしたほか、ホームセンター向け販売において取扱店舗数が増加する一方、靴販売店向け「大卸し」およびその他取引先への販売が前期を下回った結果、売上高は1億90百万円（前期比9.5%減）となりました。利益面は、拠点の集約等により経費を削減した結果、セグメント利益は6百万円（前期はセグメント損失10百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円減少し、103億17百万円となりました。これは、現金及び預金が3億9百万円、売掛金が1億28百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ7億77百万円減少し、47億53百万円となりました。これは、土地が5億9百万円（減損損失5億9百万円）、建物及び構築物が2億36百万円（減損損失97百万円）減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ11億92百万円減少し、150億70百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億52百万円減少し、34億56百万円となりました。これは、その他の流動負債が1億99百万円、未払金が1億1百万円減少し、買掛金が1億3百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し、50億50百万円となりました。これは、長期借入金が1億40百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億2百万円減少し、85億6百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億90百万円減少し、65億64百万円となりました。これは、利益剰余金が7億87百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.6ポイント低下し、43.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「投資活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少し、26億80百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億62百万円（前期比88.6%減）となりました。これは主に、減損損失6億7百万円、減価償却費2億91百万円、税金等調整前当期純損失6億7百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、0百万円（前期は8億90百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入39億30百万円、定期預金の預入による支出38億円、有形固定資産の取得による支出1億27百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億42百万円（前期比11.9%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出21億95百万円、長期借入れによる収入20億円によるものであります。

(4) 今後の見通し

(次期(2026年3月期)の見通し)

今後の経済情勢は、米国新政権の政策について不確実性が高まるほか、原材料価格や人件費の高騰による物価上昇によって、消費者の節約志向が続く懸念があるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が予想されます。

このような状況の下、次期は「商品力の強化」を基本戦略としたうえで、売上の約60%を占めるオリジナル商品について「価格から価値へ」を年度方針に掲げ、従来の安さ一辺倒にとどまらず、価格以上の価値をお客様にお届けするため、中期経営計画に掲げる重点取組10テーマを推進し、売上高の増嵩と持続可能な利益の創出に取り組んでまいります。

通信販売事業におきましては、顧客数の拡大ならびに売上高増加に向けた定番商品の強化および「SP-ON」に続く機能訴求型商品の開発を進め、また、SEO対策強化によりWEBサイトへの集客増加を図り新規顧客の受注増加に取り組んでまいります。さらに、経費の効率的な運用を図るべくカタログ配布方法の見直しによる効率化を進めてまいります。

店舗販売事業におきましては、岩岡本店のおかし館・アーケード・アウトレット館の更なる活性化を図るとともに、靴専門店の出店加速と全店がオリジナル商品の販売拡大に努めることによって、売上高増加とともに売上総利益率の向上に取り組んでまいります。

卸販売事業におきましては、売上高増加を第一に、主要取引先との取引高安定化とこれに続く柱となる取引先へのODM営業の強化、売上総利益率の高い大卸しの新規取引先開拓を図ってまいります。

以上の取り組みを達成することによって、重点取組10テーマの推進を確たるものとし、持続的な業績向上につなげてまいります。2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は132億円(前期比1.9%増)、営業利益は1億60百万円(前期は営業損失3百万円)、経常利益は1億60百万円(前期は経常損失0百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円(前期は当期純損失6億89百万円)を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当方は日本基準を採用することとしております。IFRS(国際財務報告基準)の適用時期は決定しておりませんが、今後の動向を注視して、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,790,598	6,480,986
売掛金	898,326	769,508
商品	2,849,203	2,834,965
未着商品	75,804	126,169
貯蔵品	11,985	11,254
その他	112,865	100,398
貸倒引当金	△6,319	△6,160
流動資産合計	10,732,463	10,317,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,447,478	7,404,564
減価償却累計額	△5,559,080	△5,752,561
建物及び構築物（純額）	1,888,397	1,652,003
機械装置及び運搬具	136,141	137,750
減価償却累計額	△124,949	△126,899
機械装置及び運搬具（純額）	11,192	10,850
土地	3,098,931	2,589,106
建設仮勘定	-	5,335
その他	893,337	950,519
減価償却累計額	△750,133	△789,109
その他（純額）	143,203	161,410
有形固定資産合計	5,141,724	4,418,705
無形固定資産	72,496	52,135
投資その他の資産		
投資有価証券	98,201	126,497
繰延税金資産	145,089	88,229
その他	73,665	67,972
投資その他の資産合計	316,955	282,699
固定資産合計	5,531,177	4,753,540
資産合計	16,263,641	15,070,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,758	723,490
1年内返済予定の長期借入金	1,972,614	1,917,616
未払金	621,712	520,360
未払法人税等	12,940	25,351
賞与引当金	111,237	102,134
契約負債	17,031	13,707
その他	352,864	153,443
流動負債合計	3,708,158	3,456,103
固定負債		
長期借入金	4,858,381	4,718,307
退職給付に係る負債	195,890	201,481
資産除去債務	52,783	54,205
その他	93,174	76,061
固定負債合計	5,200,229	5,050,055
負債合計	8,908,388	8,506,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,834,534	5,047,374
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,279,342	6,492,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,409	54,773
繰延ヘッジ損益	25,882	7,919
為替換算調整勘定	12,618	9,627
その他の包括利益累計額合計	75,910	72,320
純資産合計	7,355,252	6,564,503
負債純資産合計	16,263,641	15,070,662

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,313,840	12,960,074
売上原価	7,233,036	7,106,903
売上総利益	6,080,803	5,853,171
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,700,364	1,524,269
貸倒引当金繰入額	6,319	6,024
給料手当及び賞与	1,802,734	1,810,715
賞与引当金繰入額	111,237	102,134
その他	2,506,472	2,413,841
販売費及び一般管理費合計	6,127,128	5,856,985
営業損失(△)	△46,324	△3,814
営業外収益		
受取利息	5,643	9,414
受取配当金	2,436	2,849
受取補償金	15,815	16,107
為替差益	29,909	-
受取手数料	11,557	8,231
その他	13,396	9,901
営業外収益合計	78,758	46,504
営業外費用		
支払利息	28,543	34,236
為替差損	-	3,028
その他	2,930	5,817
営業外費用合計	31,474	43,082
経常利益又は経常損失(△)	959	△392
特別損失		
減損損失	-	607,352
特別損失合計	-	607,352
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	959	△607,745
法人税、住民税及び事業税	26,267	25,824
法人税等調整額	△10,146	56,241
法人税等合計	16,121	82,066
当期純損失(△)	△15,162	△689,811
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△15,162	△689,811

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純損失(△)	△15,162	△689,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,655	17,364
繰延ヘッジ損益	△10,805	△17,963
為替換算調整勘定	△1,714	△2,990
その他の包括利益合計	15,135	△3,589
包括利益	△26	△693,401
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△26	△693,401
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	5,947,044	△154,633	7,391,853
当期変動額					
剰余金の配当			△97,348		△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△15,162		△15,162
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△112,510	-	△112,510
当期末残高	450,452	1,148,990	5,834,534	△154,633	7,279,342

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	9,753	36,688	14,332	60,774	7,452,627
当期変動額					
剰余金の配当					△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△15,162
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,655	△10,805	△1,714	15,135	15,135
当期変動額合計	27,655	△10,805	△1,714	15,135	△97,374
当期末残高	37,409	25,882	12,618	75,910	7,355,252

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	5,834,534	△154,633	7,279,342
当期変動額					
剰余金の配当			△97,348		△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△689,811		△689,811
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△787,159	-	△787,159
当期末残高	450,452	1,148,990	5,047,374	△154,633	6,492,182

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	37,409	25,882	12,618	75,910	7,355,252
当期変動額					
剰余金の配当					△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△689,811
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	17,364	△17,963	△2,990	△3,589	△3,589
当期変動額合計	17,364	△17,963	△2,990	△3,589	△790,749
当期末残高	54,773	7,919	9,627	72,320	6,564,503

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	959	△607,745
減価償却費	297,190	291,113
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,605	△158
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△748	△9,103
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,533	5,590
受取利息及び受取配当金	△8,079	△12,263
支払利息	28,543	34,236
為替差損益 (△は益)	△627	1,770
減損損失	-	607,352
売上債権の増減額 (△は増加)	40,635	130,329
棚卸資産の増減額 (△は増加)	920,835	△35,396
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91,716	101,563
契約負債の増減額 (△は減少)	△2,431	△3,324
その他	271,596	△320,849
小計	1,461,086	183,115
利息及び配当金の受取額	7,877	11,144
利息の支払額	△28,549	△34,650
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△14,473	2,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,425,940	162,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,430,000	△3,800,000
定期預金の払戻による収入	600,000	3,930,000
有形固定資産の取得による支出	△55,786	△127,213
有形固定資産の売却による収入	63	109
投資有価証券の取得による支出	△549	△2,401
その他	△4,498	△281
投資活動によるキャッシュ・フロー	△890,771	212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,162,077	△2,195,072
配当金の支払額	△97,337	△97,337
その他	△46,536	△50,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△305,951	△342,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,581	512
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	231,799	△179,611
現金及び現金同等物の期首残高	2,628,799	2,860,598
現金及び現金同等物の期末残高	2,860,598	2,680,986

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品を販売する業態別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品や顧客に対する販売促進施策等について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は各事業部門を基礎とした販売業態別セグメントから構成されており、「通信販売事業」、「店舗販売事業」および「卸販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の主な内容は次のとおりであります。

- (1) 通信販売事業・・・自社オリジナル商品を中心とした、カタログ、インターネットによる靴・履物、衣料品、日用雑貨品等の販売
- (2) 店舗販売事業・・・ディスカウント業態の店舗による靴・履物、食料品、衣料品、日用雑貨品等の販売および靴専門店による靴・履物等の販売
- (3) 卸販売事業・・・OEM開発商品を中心とした、大手小売店、量販店等への靴・履物等の販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会社方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,684,923	6,417,919	210,998	13,313,840	—	13,313,840
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,684,923	6,417,919	210,998	13,313,840	—	13,313,840
セグメント利益 又は損失(△)	288,312	58,032	△10,061	336,283	△382,608	△46,324
セグメント資産	4,479,332	4,767,256	117,323	9,363,912	6,899,728	16,263,641
その他の項目						
減価償却費	129,171	150,735	7,945	287,852	9,338	297,190
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	12,372	104,522	216	117,111	767	117,878

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△382,608千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,899,728千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃39,424千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,138,584	6,630,500	190,989	12,960,074	—	12,960,074
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,138,584	6,630,500	190,989	12,960,074	—	12,960,074
セグメント利益	203,678	176,826	6,127	386,631	△390,445	△3,814
セグメント資産	3,890,338	4,446,389	81,324	8,418,052	6,652,610	15,070,662
その他の項目						
減価償却費	116,663	158,387	6,768	281,818	8,245	290,064
減損損失	343,691	263,661	—	607,352	—	607,352
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	28,460	126,679	1,155	156,294	1,118	157,413

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△390,445千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,652,610千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業損失（△）と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃37,176千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産	1,511円12銭	1,348円67銭
1株当たり当期純損失(△)	△3円12銭	△141円72銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△15,162	△689,811
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△15,162	△689,811
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,867	4,867

(重要な後発事象)

該当事項はありません。